

## 表題：第22回瑞穂町の協働を考える会議 概要

- 1 日 時 平成27年2月18日（水曜日） 18時35分から19時20分
- 2 場 所 町民会館第1会議室
- 3 出席者 （構成員） ※以下出席者について敬称略  
榎本和己、加戸佐織、川口尊、古宮郁夫、中沢清、野本多恵子  
（瑞穂町協働施策推進アドバイザー）  
辻山幸宣  
（事務局）  
横澤和也（住民部長）、古川実（住民部地域課長）、水村探太郎（住民部地域課地域係長）、吉岡佐知代（住民部地域課地域係主任）、福島聡（住民部地域課地域係主任）
- 4 欠席者 （構成員）  
香取幸子、近藤隆幸、清水久央
- 5 議 題
  - 1 協働宣言の実現に向けた提言について
  - 2 町長への提言書の提出について
  - 3 その他
- 6 配付資料
  - 1 次第（当日配付）
  - 2 第21回瑞穂町の協働を考える会議まとめ（事前配付）
  - 3 提言書（案）[3次修正]（事前配付）
  - 4 町長への提言書の提出について（当日配付）
  - 5 瑞穂町協働のまちづくり推進委員会設置要綱（当日配付）
- 7 開会  
古宮座長

### 議題1 協働宣言の実現に向けた提言について

#### 事務局説明

- ・ 文言整理等前回からの変更点を説明。変更した箇所については用例をあたり、一般的に多そうなものをピックアップして採用
- ・ 1ページ目のもくじ、各章に中項目を追加
- ・ 3ページ目の下、挿し絵について住民と行政の関係の表記を上下から左右に変更
- ・ 6ページ目上から2行目、「酪農や農業といった産業が盛ん・・・」の表記を変更。町内には先進的な酪農家があること、茶業もブランド化されていること、

シクラメン栽培が代表的な産業となっていることから農政担当者とも調整し変更

- ・ 13 ページ目、意見募集を行った際のテーマを追加
- ・ 15 ページ目、会議の経過事項を追加

#### 【意見】

- ・ 提言のイメージ図の米印に、「その他地縁団体」とありますが、地縁というのは一族の集まりという意味で使っているのでしょうか。間違えでなければよいのですが、広辞苑にそのような意味も載っていましたので。→（辻山）一般的に地縁団体というと町内会の意味で使われます。今言われたのは一族親族など血縁の関係のことになります。間違えではありませんが、違和感があるようでしたら、地域団体とか住民団体とした方が良くもかもしれません。
- ・ 提言の2つ目のタイトルには「地域団体」となっているんですね。
- ・ 他の文章との整合性も含めればそこは考えたほうが良いと思いますが、訂正等はスケジュール的に間に合いそうですか。→（事務局）スケジュールは問題ありません。
- ・ 提言の2つ目のタイトルや本文に「地域」という言葉が出てきますが、「地縁」を「地域」に置き換えても問題ないと思いますがいかがでしょうか。→（事務局）地縁団体と書く場合に意識的に職員としては町内会や自治会を想定します。文面もNPOや地域団体といった表現をしていますので、イメージ図の中の「地縁団体」を「町内会・自治会」に変えさせていただければ整合性は取れると思います。
- ・ 文言については行政が使う感覚と一般の方が見た場合の感覚に相違があると思います。どちらが良い悪いではありませんので、事務局の提案で調整してもらえればと思うのですが、皆さんはいかがでしょうか。→（一同）異議なし。
- ・ 2 ページ目の「取り組み」という字について、送り仮名が入っているものと入っていないものがあります。11 ページ目には入っていません。→（事務局）正解はありませんが、文章中に名詞で使用される場合は送り仮名がない方が多い気がします。文章中では両方とも動詞ではなく名詞で使っていますので、そこも用例を当たって多い方に統一させていただければと思います。
- ・ 2 ページ目の下から2行目、「ともにまちづくりしていく」の「まちづくり」と「していく」の間に「を」を入れた方が良くと思います。
- ・ 提言書自体はうまくまとめられていると思います。意味が間違っていなければ、「てにをは」については事務局にお任せして良いと思います。

## 結 論

- ・ 提言のイメージ図中の「地縁団体」を「町内会・自治会」に変えることとしました。
- ・ 送り仮名など細かい表現については、事務局において用例を当たり、統一を図ることとしました。

## 議題2 町長への提言書の提出について

### 事務局説明

- ・ 3月16日に今までの集大成としてまとめた提言書を理事者に提出予定
- ・ 3月12日までに出席の確認を取りたい旨を説明

### 【質疑】

- ・ 電話連絡すればよろしいですか。→（事務局）結構です。
- ・ 時間はどれくらいかかりますか。→（事務局）30分程度を見込んでいます。

## 結 論

- ・ 会議当日、出席を確認できた方以外は3月12日までに出席の旨を事務局に連絡することとしました。

### 《座長からこれまでの会議の総評》

2年間議論してきたことが提言書の最終ページにも見て取れますが、最初は「協働ってなんだろう。」というところから、皆が共通認識を持ち、勉強しながら議論を重ねてきました。

この2年間協働ということを考えていく中で、この人数の中で意見を出し合っ  
てひとつのものを作り上げましたが、今後協働を進めていく際に大勢の人の話を  
まとめていくということは凄く大変なことだと思いました。協働といっても皆さん  
が顔を合わせた中で思いがひとつになるまとめ方というのが凄く重要なポイ  
ントになってくるのではないかと思います。

今回の提言文ができましたが、これ1回で終わってしまうのではなくて、これ  
からの瑞穂町の協働の指針といいますか、これからも残っていく意味合いの大き  
いことに関ることができたということを非常に嬉しく思っています。

今までともに議論をしていただいた委員の皆さま、そして、適時適切な指導を  
いただきました辻山アドバイザーに感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 《アドバイザーからこれまでの会議の総評》

皆さん今までお疲れ様でした。今座長がほとんど触れていましたが、1970年くらいによく住民参加や市民参加といわれるように、住んでいる人たちが参加することによってその自治体と地域を何とかしていこうという声が出たのですが、それから40年以上経ちますが、実はその参加というのは「〇〇やってください。」というような要望や要求が主流で終わっていました。つまり、大げさに言いますと住民たちは行政によってサービスを受けたり、あるいは行政によって治められたりという立場としての参加がされてきました。

今回ここで思ったことは、座長が先程仰ったように、ここで皆さんが携わったのはこの地域の運営についてどう運営していくか、どう治めていくかという観点でまとめなければならなかったのですが、皆さんは治められる側として意見を言うだけではなく、自分たちで設計していったということが私は大転換ではないかと思っています。私がそれを感じているのは、ここ10年間は住民だけで自治基本条例づくりを行っていきようになっていますが、それも結局は学識経験者の指導でできたところもあります。

私は今回この協働という言葉が使われ出してから、ひとつの確信を持ったのです。1つ目はこの場の協働ですね。皆さん自身の協働です。それはどう治めていくかという視点でまとめなければならぬと先程言ったことに関係しますが、人の意見を聞いて、自分の意見と調整して妥協するそういう作法が身についてきたのではないかと思います。これがなければまとまらないと思っています。それは「共同」か「協働」かは区別が難しいのですが、そういう取組が随所に見られることができ私自身とても勉強になりました。2つ目の「協働」について言えば、この会議のメンバーと行政との息に「協働」を感じました。一方的に行政が原案を押し付ける訳ではなく、一緒になってつくっていこうということが見えてきましたが、まさにこういう物事の進め方が町政全般に及んだら相当な改革になるのではないかという気がしています。そういう意味では、これから協働事業というものをどうやって住民と行政がタイアップしてやっていくんだらうかということになりますので、それぞれ皆さんが取組んでおられる事業や活動とともに協働事業を生み出していくといえますか、設計していくという役割も行政と一緒にやってやっていただきたいと思います。

私は地方自治が専門ですが、地方自治は団体自治と住民自治で構成されているということを聞かれたことがあるかと思っています。実は住民自治というのは今よく分かっていないのです。町内会のことなのか、あるいは、極端に言えば任せておけばいいのか、というのはあるのですが、私自身地元の町内会の役員やこの会議の協働のアドバイザーをやらせてもらっていますが、あらためて勉強になった

と感じています。ありがとうございました。

### 議題3 その他

#### 事務局説明

- ・ 来年度の協働体制として今後も協働を考える会議に引き続き、協働のまちづくりについて議論していくことが必要であることから、来年度から「瑞穂町協働のまちづくり推進委員会」の設置に向けて準備中
- ・ 現在、瑞穂町協働のまちづくり推進委員会委員の公募中。今後は包括的な議論を行っていくための体制をつくり、庁内協働推進担当者会と併せて、協働を推進
- ・ 瑞穂町協働のまちづくり推進委員会では町の協働推進全体に関する事、行政が行う協働事業の検証、協働のフォーラムの内容に関する事などについて議論を予定。フォーラムは年度末を予定し、住民、団体、児童・生徒、職員等を招き、協働に関する活動を発表する場・交流する場周知する場となればと思いい検討中
- ・ 庁内協働推進担当者会は、回数を増やしていくとともに、委員会との情報のやり取りを行っていく予定
- ・ 職員を対象とした研修を実施するために予算要求済み。講師をお招きし、2日間に分け、全職員対象を対象に協働のまちづくりに関する講演をいただく予定

#### その他（構成員から）

- ・ 私は情報特派員をしていますが、今回がひとつの区切りということでこの2年間の歩みを記事にして皆さんに読んでいただきたいと思います。いかがでしょうか。たぶん広報5月号に掲載されることになろうかと思えます。いろんな形で協働についてPRしていますが、広報は全家庭に配られるものですから、今までやってきたことや今後の展開を分かるようにして地域の人に認識してもらいたいと思っています。事務局にお願いですが、会議中の写真があれば提供していただければと思います。記事を書いたら見ていただいて秘書広報課に出したいと思えますので、その折にはご協力をお願いします。